



Adobe Experience Manager 6 Architect

アドビ認定エキスパート試験ガイド

試験番号：9A0-385

2018年2月7日改訂

この試験ガイドには、2017年1月16日に公開される新しいバージョンのAEM 6 Architect 試験に関する詳細が記載されています。実施日が1月16日より前である試験に申し込んだ受験者は、現在のバージョンの試験を受けることになります。1月16日またはそれより後に実施される試験は、新しいバージョンになります。

アドビ認定エキスパート試験について

アドビ認定エキスパートになることで、アドビソリューションの価値を実現できるようにクライアントを支援するうえでの専門知識があることを実証できます。

アドビの認定試験は、業界で認められた手順により有効性と信頼性を確保しています。試験は業界のエキスパートと連携して、認定対象業務に求められる実務的要件と目的に沿って作成されています。

このガイドは、アドビ認定エキスパート試験の準備に必要な情報を提供すると共に、どの段階で受験するか判断材料を示すことを目的としています。試験の評価対象となる、特定の職務についての「最低限の資格基準該当者」に必要な知識と技術の概要を示します。

Adobe Experience Manager 6 Architect 試験の構成

- 問題数：50
- 試験時間：95分
- 合格点：アドビ認定試験はすべて300～700点の間で採点されます。各試験の合格点は550点です。採点スケールの詳細については、[FAQ](#)を参照してください。

試験の申し込み方法

この試験は世界共通でピアソン PSI が配信します。

- 試験名：Adobe Experience Manager 6 Architect
- 試験番号：9A0-385
- 受験料：22,325円

PSI テストセンターでの試験申し込み方法：

1. アドビの[認定試験管理システム](#)にアクセスします。
2. 以前にログインしたことがある場合、電子メールアドレスまたはログイン ID とパスワードを使用してシステムにアクセスし、ステップ 6 に進みます。
3. CertMetrics に初めてログインする場合、「Never logged in before (初めてログインする)」をクリックしてアカウントを作成してからステップ 4 または 5 に進みます。
4. 以前にアドビ認定試験を受けたことがある場合、「Click here if you have already taken an Adobe exam (アドビ認定試験を受けたことがある場合はここをクリックしてください)」をクリックします。前回の試験登録に使用した電子メールを入力するよう求められます。使用した電子メールアドレスを覚えていない場合は試験のスコアレポートにある情報を入力して身元情報を確認できます。ログイン ID とパスワードをリセットするリンクが含まれた電子メールが送信されます。
5. アドビ認定試験を受けたことが一度もない場合、必要な情報を入力してアカウントを設定します。フォームを送信すると、ログイン ID とパスワードの設定を求める電子メールが送信されます。
6. CertMetrics にログインしたら、「Schedule your exam at PSI (PSI で試験を予約する)」をクリックします。
7. CertMetrics の新しいページが表示されたら、「Click here to log in to PSI (ここをクリックして PSI にログイン)」をクリックします。
8. 試験の一覧をスクロールして受験する試験の「Schedule Exam (試験を予約する)」ボタンをクリックします。
9. 試験の言語と場所を選択し、お住まいの地域で利用できるテストセンターのオプションを表示します。
10. 登録が可能な日付と開始時間を選択します。
11. スケジュールの詳細を確認すると予約の確認が表示されます。
12. 支払いページに進みます。
13. 支払い処理の後、登録の詳細と領収書を含む確認の電子メールが送信されます。

Adobe Experience Manager 6 Architect 試験の範囲

以下に示す領域の各種タスクが試験の評価対象となります。

- 既存の環境とビジネスプロセスの特定
- クライアントの要望の特定
- ビジネス要件の検証
- ソリューションアーキテクチャの設計
- Web ページのコンポーネントとテンプレートの識別
- 移行戦略の策定

Adobe Experience Manager 6 Architect 試験ガイド

- パフォーマンス要件の識別と推奨
- セキュリティモデルの識別と推奨
- 品質保証（QA）要件の識別と QA プロセスの計画
- サードパーティシステムとの統合
- コンテンツ編集プロセスの管理
- 開発プロセスの作成

各領域に、Adobe Experience Manager Architect として求められる以下のタスクがあります。

- **既存の環境とビジネスプロセスの特定**
AEM と統合するクライアントのシステムとサードパーティのソフトウェアサービスを検討できること。また、ビジネスプロセスとワークフローを分析できること。
- **クライアントの要望の特定**
ビジネス要件を分析し、短期および長期のクライアントのニーズを説明できること。
- **ビジネス要件の検証**
どのビジネス要件が AEM の out-of-the-box 機能に対応しているかを文書化できること。
- **ソリューションアーキテクチャの設計**
プロジェクトの進行に伴う、顧客の技術要件定義を変更できること。
- **Web ページのコンポーネントとテンプレートの識別**
Web サイトで必要なすべてのページを調査できること。Web ページを分類し、カテゴリごとのテンプレートを設計できること。テンプレートをサポートする out-of-the-box コンポーネントを識別し、テンプレートをサポートするカスタムコンポーネントを定義できること。
- **移行戦略の策定**
現状のコンテンツ構造から将来のコンテンツ構造に属性を対応付けることができること。また、現状から将来に向けたコンテンツの移行パスを文書化できること。さらに、移行戦略の実行を計画できること。
- **パフォーマンス要件の識別と推奨**
クライアントのパフォーマンス要件を識別し、全体的なセキュリティモデルを文書化できること。
- **セキュリティモデルの識別と推奨**
クライアントのセキュリティ要件を識別し、全体的なセキュリティモデルを文書化できること。
- **品質保証（QA）要件の識別と QA プロセスの計画**
顧客の要件に基づいて QA フェーズを計画できること（QA で重視する重要な分野と QA フェーズの目標指標の識別を含む）。QA プロセスを自動化し、変更管理プロセスに QA を統合できること。
- **サードパーティシステムとの統合**
他のアドビソリューションとの統合に関連する考慮事項を特定できること。また、標準のサードパーティシステムおよび非標準のサードパーティシステムと AEM ソリューションを統合できること（標準のサードパーティシステムは LDAP、一般的な SSO ソリューション、e コマースを含む。非標

準のサードパーティシステムは顧客データベース、イベント管理システム、製品構成を含む）。

- **コンテンツ編集プロセスの管理**

最初のコンテンツ投入のプロセスを明確化できること（部分的に完成したシステムで開始できる順次配信など）。また、翻訳プロセスを文書化し、エンドユーザーによる検証を実施できること。

- **開発プロセスの作成**

プロジェクトで使用されるツールチェーンを定義できること（バージョン管理、継続的インテグレーション 環境、文書の場所を含む）。既存の役割と責任を特定し、リリースと開発のプロセスに関連するフィードバックを提供できること、およびプロセスの依存関係を特定できること。プロジェクトで使用されるコミュニケーションおよび開発エスカレーションのプロセスを定義できること。

本試験の出題配分：

試験問題の分野別の割合は以下のとおりです（注意：各問題の配点はすべて同じであり、どの問題にも部分点はありません）。

分野	試験内容の割合
既存の環境とビジネスプロセスの特定	9%
クライアントの要望の特定	8%
ビジネス要件の検証	4%
ソリューションアーキテクチャの設計	2%
Web ページのコンポーネントとテンプレートの識別	9%
移行戦略の策定	8%
パフォーマンス要件の識別と推奨	10%
セキュリティモデルの識別と推奨	8%
品質保証要件の識別と QA プロセスの計画	11%
サードパーティシステムとの統合	9%
コンテンツ編集プロセスの管理	13%
開発プロセスの作成	9%

Adobe Experience Manager Architect の職務

この試験は、現在または過去に Adobe Experience Manager Architect を担当した経験のある個人向けに設計されています。

最低限の資格基準該当者

試験に合格するには、下記に示すとおり Adobe Experience Manager Architect に求められる最低基準の知識、技術、能力を身につける必要があります。

Adobe Experience Manager Architect は単独で以下のタスクを実行できること：

- 将来の要件を満たすことができるコンテンツ／アセットのコンテンツモデルを定義する
- ビジネス要件に基づき、必要なテンプレートとコンポーネントを定義する
- out-of-the-box コンポーネントとカスタムコンポーネントの使い分けを示す
- カスタムコンポーネントの仕様を作成する
- OSGi バンドル／サービス、タグライブラリをいつ使用するかを示す
- いつ概念実証（POC）が必要となるかを示す
- 標準セキュリティモデルと概念（LDAP、SSO など）を説明する
- 非機能的なビジネス要件に基づき、どのストレージタイプを使用するかを判断する
- 標準パフォーマンス最適化の概念を説明し、顧客の要件（キャッシュ／CDN、ユーザーが作成するコンテンツなど）に応用できる
- ビジネスプロセスのワークフローモデルの設計を指揮する
- 顧客 Web サイトの分析用タグ付き構造を定義する
- AEM をインストールするためのセキュリティ概念を構築する（ユーザー、グループ、ACL、ディスパッチャールール、OS に基づくセキュリティ）
- 旧システムから AEM への移行戦略を開発する
- コンテンツ構造、テンプレート、コンポーネントに影響するローカリゼーション概念（国際化）とサードパーティ翻訳機能について説明する
- ユーザーインターフェイス（UI）フレームワークに関する知識を示す
- 必要十分なテストインフラストラクチャを構築する（ステージング環境、テストコーディネーション、必須の自動／手動テストの明確化を含む）

Linux、その他の UNIX システム、Windows Server、ネットワークとネットワークトポロジ、Web サーバー（IIS、Apache など）についての知識もあり、各環境と Continuous Integration Server（Jenkins など）を構築できる必要があります。

この試験の最低限の資格基準該当者に想定される職務経歴

通常以下の職務経歴を持つ Adobe Experience Manager Architect が最低限の資格基準該当者となります。

- 5年以上の Java/J2EE コーディング経験

Adobe Experience Manager 6 Architect 試験ガイド

- 2～4年のAEM経験
- 2～4年のOSGiフレームワーク（バンドル／サービス、タグライブラリ）経験
- 5年以上のWCM（任意のCMS）経験
- 3件以上のAEMベースのソリューションまたはプロジェクトでアーキテクトまたはアーキテクト補助を務めたことがある
- Agile Scrum、Waterfallなどの業界標準手法の経験がある
- バックエンド統合、フロントエンド統合の経験がある
- AEMアプリケーションで分類法を利用した経験がある
- 複数の異なる持続的なアーキテクチャを取り扱った経験がある（バイナリストレージ、コンテンツストレージ、リレーショナルデータベース、インデックステクノロジー、クラウドインストールなどのアーキテクチャを含む）
- AEMインフラストラクチャ／環境全体を設計できる
- AEMベースのソリューションを設計できる
- クライアントアーキテクチャの現状／ディスカバリ分析を実施できる
- 文書を容易に作成し、顧客に提示できる
- 顧客の構想に基づき機能要件を抜粋できる
- 明瞭な機能仕様を記述できる
- 対立する要件を識別し、機能競合の解決を調整できる

受験の準備に役立つトレーニング

トレーニングの必要性

受験前にトレーニングが必ず必要なわけではありませんが、トレーニングにより Adobe Experience Manager Architect に必要な知識と技術を大幅に向上できる可能性はあります。もっとも、トレーニングのみで合格に必要な知識とスキルを得ることはできません。合格に必要な知識を得るには、実務で成功経験を積むことが不可欠です。

アドビパートナー向けトレーニング

アドビソリューションパートナーの皆様には各種のトレーニングとリソースをご利用いただけます。リソースにアクセスするには、アドビIDで [Solution Partner Portal](#) にログインして [トレーニングのランディングページ](#) に進みます。このページで興味のあるソリューションを選択して、オンデマンドや講師によるコース、またはオンサイトなどのトレーニングオプションにアクセスできます。

- オンデマンドによるトレーニング：パートナーの皆様すべてに営業、技術、配布などの役割に応じたオンデマンドのトレーニングリソースを提供しています。これには自己学習モ

ジュール、e セミナービデオ、小テスト、試験、そして理解度を把握できる練習テストなどがあり、このすべてに無料でアクセスできます。

- 仮想インストラクターによるトレーニング：ビジネスレベルまたはそれ以上のレベルのパートナーの皆様は、学習管理システムを介して仮想インストラクターによるトレーニングを受講することができます。このトレーニングは **100%** カバーされます。
- 講師によるトレーニング：パートナーの皆様には **Adobe Digital Learning (ADLS)** から配信されるトレーニングにもご参加いただけます。**Adobe Digital Learning Services** ではすべての役職をカバーする総合的かつ実践的なコースを用意しています。仮想クラスルームまたは世界中のアドビトレーニングセンターで実際にアドビエキスパートが行うコースを受講できます。コースは有料ですが、パートナーソリューションプログラムのパートナーレベルに応じた割引 (**15 ~ 30%**) をご利用いただけます。
- オンサイトのトレーニング：オンサイトトレーニングは弊社のスタッフが貴社にお伺いするか、貴社チームを弊社のトレーニングセンターに招いて行うもので、必要な知識がすばやく身に付きます。**Adobe Digital Learning Services** では、貴社チームのために柔軟で便利な仮想形式または対面形式を用いた講師によるトレーニングをご用意しています。コースの内容は貴社に固有の学習要件に合わせてカスタマイズすることが可能です。

上記に加えてパートナーの皆様は **Certification Learner Journeys**、**Certification Paths**、および無償の認定準備コースもご利用いただけます。数々の役立つリソースにアクセスする方法については、[Solution Partner Portal Certification ページ](#)をご覧ください。

Solution Partner Portal への登録がまだの場合は[こちらの手順](#)に従い登録を済ませてください。

公開トレーニングコース

Adobe Experience Manager Architect 職務に関連するコースをご紹介します。コース内容の説明を参考に、現在の知識と技術レベルに合うコースをお選びください。Adobe AEM トレーニングの一覧については、[こちら](#)をご覧ください。

受験時期を判断するには

試験の合格を保証するものではありませんが、実践経験が豊富でトレーニングを多数こなすほど、合格できる可能性が高くなります。到達度を把握するには、下記の自己査定準備シートをご利用ください。

実践経験

アドビの試験では特定の職務に関する知識と技術が評価されるので、このガイドに記載された最低基準の実務経験

Adobe Experience Manager 6 Architect 試験ガイド
を積むことが最も効果的な受験準備方法の1つです。

自己査定準備シート

次の作業シートを使って試験項目を確認し、到達度の確認にご利用ください。引き続き準備が必要と思われる項目がある場合は、トレーニングが必要か、実務経験が必要か、両方必要かを判断します。

項目	はい	いいえ
既存の環境とビジネスプロセスの特定		
AEM と統合するクライアントシステムを検討できる		
AEM と統合できるサードパーティのソフトウェアサービスを検討できる		
ビジネスプロセスおよびワークフローの分析ができる		
項目	はい	いいえ
クライアントの要望の特定		
ビジネス要件の分析ができる		
短期および長期のクライアントのニーズを判断できる		
項目	はい	いいえ
ビジネス要件の検証		
AEM の out-of-the-box 機能と対応しているビジネス要件を文書化できる		
項目	はい	いいえ
ソリューションアーキテクチャの設計		
プロジェクトの進行に伴う、顧客の技術要件定義の変更を行うことができる		
項目	はい	いいえ
Web ページのコンポーネントとテンプレートの識別		
Web サイトに必要なすべてのページを確認できる		
Web ページを分類できる		
カテゴリごとにテンプレートを設計できる		
テンプレートをサポートする out-of-the-box コンポーネントを特定できる		
テンプレートをサポートするカスタムコンポーネントを定義できる		

項目	はい	いいえ
移行戦略の策定		
現状のコンテンツ構造から将来のコンテンツ構造への属性の対応付けを行うことができる		
現状から将来に向けたコンテンツの移行パスを文書化できる		
移行戦略を実行する計画を立てることができる		
自動および手動での移行戦略の実現可能性を判断できる		
項目	はい	いいえ
パフォーマンス要件の識別と推奨		
顧客のこれまでのパフォーマンス指標の履歴の収集、およびパフォーマンスの許容基準とパフォーマンス KPI（クライアントから取得する）を文書化できる		
パフォーマンス要件のベストプラクティスの文書化を行うことができる		
項目	はい	いいえ
セキュリティモデルの識別と推奨		
クライアントのセキュリティ要件を識別できる		
全体的なセキュリティモデルを文書化できる		
項目	はい	いいえ
品質保証要件の識別と QA プロセスの計画		
顧客要件に基づく QA フェーズの計画を立てることができる		
QA で重視する重要分野を識別できる		
QA フェーズの目標指標を識別できる		
QA アクティビティに対応するためのインフラストラクチャ要件を計画できる		
QA プロセスを自動化できる		
QA を変更管理に統合できる		

項目	はい	いいえ
サードパーティシステムとの統合		
他の Adobe ソリューションとの統合に関連する考慮事項を特定できる		
標準のサードパーティシステムと AEM ソリューションを統合できる (標準のサードパーティシステムは LDAP、一般的な SSO ソリューション、e コマースを含む)		
非標準のサードパーティシステムと AEM ソリューションを統合できる (非標準のサードパーティシステムは顧客データベース、イベント管理システム、製品構成を含む)		
項目	はい	いいえ
コンテンツ編集プロセスの管理		
求められている機能と out-of-the-box 機能とのギャップを特定できる		
ユーザー受け入れテスト (UAT) プロセスの実施にあたり要件を満たしているかを確認し、ユーザービリティの問題を特定できる		
最初のコンテンツ投入のプロセスを明確化できる (部分的に完成したシステムで開始できる順次配信など)		
翻訳プロセスの文書化およびエンドユーザーによる検証を実施できる		
ロールアウトプロセス (MSM など) の定義と検証、および制約を明確化できる		
ビジネス要件および組織構造に基づくユーザーとグループモデルを定義できる		
コンテンツのプロモーションプロセスを定義できる		
項目	はい	いいえ
開発プロセスの作成		
プロジェクトで使用されるツールチェーンの定義を行うことができる (バージョン管理、継続的インテグレーション 環境、文書化を含む)		
既存の役割と責任の特定し、リリースと開発のプロセスに関連するフィードバックを提供することができる		
プロジェクトで使用されるコミュニケーションおよび開発エスカレーションプロセスを定義できる		
プロセスの依存関係を特定できる		
コードを昇格させる際のステージングプロセスを定義できる		

模擬試験問題

試験にどのような問題が出題されるかを感覚的に理解するために、以下の模擬設問を解いてみてください。ここでの結果は、**実際の試験での結果を示すものではありません**。試験準備を十分に行うために、この試験準備ガイドで、出題範囲のトピックおよび目的をしっかりと確認してください。正解はこの試験ガイドの最後に記載されています。

- 1. AEM を購入したばかりの顧客が、既存のデータベースを認証に使用したいと希望しています。LDAP の使用は希望していません。次のどれを実装しますか。**
 - A. SSO
 - B. カスタムログインモジュール
 - C. SAML
 - D. Apache フィルター

- 2. マーケティング会社が既知のクライアントにサービス品目の一覧を提示したいと希望しています。サービス品目はバックエンドデータベースに含まれていて、毎日更新されています。どのアプローチを推奨しますか。**
 - A. バックエンドデータベースから AJAX を使用してサービス品目を取得する
 - B. OSGI サービスを使用してサービス品目を取得する AEM コンポーネントを作成する
 - C. スケジュールされたジョブを使用して JSON 応答によりサービス品目を提供する
 - D. バックエンドシステムから Server Side Includes (SSI) を使ってサービス品目を取得する

- 3. 顧客は、複数のユーザーによるコンテンツ承認の方法を求めています。作業項目を割り当てられたユーザーからデータを収集し、パブリッシュインスタンスにコンテンツをレプリケートするという手順です。全体のワークフロー開発の一環として使用する、out-of-the-box のワークフローコンポーネントは次のどれですか。**
 - A. フォーム参加者ステップ
 - B. ダイアログ参加者ステップ
 - C. 参加者ステップ
 - D. 動的参加者ステップ

- 4. 顧客が AEM UI を自社/プロジェクトのロゴ入りにブランド変更することを求めています。どのアプローチを推奨しますか。**
 - A. AEM ロゴ画像/スプライトを探し、そのバイナリを顧客企業のロゴに置換する
 - B. 顧客企業のアセットを参照するように /libs の AEM コードを変更する
 - C. 顧客企業のアセットを参照するように /libs の AEM コードを /apps コードでオーバーライドする
 - D. AEM UI フックと JS を使用して、クライアントサイドでアセットをスワップする

5. サードパーティシステムを統合しないで AEM を使用する場合に、適切に実装できる 2 つのビジネス要件は次のどれですか（2 つ選択してください）。

- A. 100 人を超える同時使用ユーザーをサポートするチャットルーム
- B. 10,000 人のユーザーコミュニティ向け、モデレートされないユーザーフォーラム
- C. ユーザー向けクレジットカード決済の処理
- D. 1 日に 100 件受信する、モデレートされたブログコメント

6. 金融機関の顧客向けにソリューションアーキテクチャを構築しました。設計が完了し実装に移る前に、顧客からの指示が変更され、ユーザーの認証は内部 LDAP サーバーではなく外部ホストの SAML ID プロバイダーで行うことになりました。

これに対応するために、変更する必要がある 2 つのアーキテクチャダイアグラムは次のどれですか（2 つ選択してください）。

- A. 物理
- B. 概念
- C. データフロー
- D. 論理

7. HTTP 要求の総数を減らすには、どのアプローチを取るべきですか。

- A. OSGI 設定によりクライアントライブラリを削減する
- B. OSGI 設定によりクライアントライブラリを GZIP する
- C. JS ファイルをクライアントライブラリに結合する
- D. 依存関係プロパティを使用して、複数のクライアントライブラリを含める

解答

試験にどのような問題が出題されるかを感覚的に理解するために、以下の模擬設問を解いてみてください。ここでの結果は、**実際の試験での結果を示すものではありません**。試験準備を十分に行うために、この試験準備ガイドで、出題範囲のトピックおよび目的をしっかりと確認してください。正解はこの試験ガイドの最後に記載されています。

1. AEM を購入したばかりの顧客が、既存のデータベースを認証に使用したいと希望しています。LDAP の使用は希望していません。次のどれを実装しますか。

正解：B — カスタムログインモジュール

2. マーケティング会社が既知のクライアントにサービス品目の一覧を提示したいと希望しています。サービス品目はバックエンドデータベースに含まれていて、毎日更新されています。どのアプローチを推奨しますか。

正解：C — スケジュールされたジョブを使用して JSON 応答によりサービス品目を提供する

3. 顧客が複数のユーザーから収集したコンテンツを承認する方法を求めています。作業項目を割り当てられたユーザーからデータを収集し、コンテンツをレプリケートして、インスタンスをパブリッシュするという手順です。全体のワークフロー開発の一環として使用する、out-of-the-box のワークフローコンポーネントは次のどれですか。

正解：B — ダイアログ参加者ステップ

4. 顧客が AEM UI を自社/プロジェクトのロゴ入りにブランド変更することを求めています。どのアプローチを推奨しますか。

正解：D — AEM UI フックと JS を使用して、クライアントサイドでアセットをスワップする

5. サードパーティシステムを統合しないで AEM を使用する場合に、適切に実装できる 2 つのビジネス要件は次のどれですか（2 つ選択してください）。

正解：B — 10,000 人のユーザーコミュニティ向け、モデレートされないユーザーフォーラム

正解：D — 1 日に 100 件受信する、モデレートされたブログコメント

6. 金融機関の顧客向けにソリューションアーキテクチャを構築しました。設計が完了し実装に移る前に、顧客からの指示が変更され、ユーザーの認証は内部 LDAP サーバーではなく外部ホストの SAML ID プロバイダーで行うことになりました。

これに対応するために、変更する必要がある 2 つのアーキテクチャ図は次のどれですか（2 つ選択してください）。

正解：B — 概念 正解：C — データフロー

7. HTTP 要求の総数を減らすには、どのアプローチを取るべきですか。

正解：C — JS ファイルをクライアントライブラリに結合する

サポート

認定については、[Solution Partner Portal](#) Web サイトをご利用ください。お問い合わせは、[認定サポート](#)に電子メールでご連絡ください。



システムズ 株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー
www.adobe.com/jp

Adobe Inc.
345 Park Avenue
San Jose, CA 95110-2704 USA
www.adobe.com

© 2018 Adobe. All rights reserved. Printed in Japan. 90000000 7/09